

食料・農業・農村政策審議会農業共済部会
家畜共済小委員会報告概要

諮問事項

- 1 家畜共済診療点数表付表薬価基準表に収載する医薬品の価格の算定方法について

【調査審議結果】

家畜共済診療点数表付表薬価基準表に収載する医薬品の価格の算定方法（案）については、適当と判断する。

【調査審議における専門委員からの主な意見等】

- 1 薬価算定方式の変更について事務局から、「医療機関等で保険診療に用いられる医療用医薬品の薬価の算定方式は、かつて90%バルクライン方式であったが見直された。その背景は、薬価と医療機関等の購入価格とには大きな価格差（薬価差）があり、医療機関等は医薬品を使えば使うほど薬価差による利益が多くなるため、結果として薬漬け医療を招いていると指摘されたことによる」旨の説明があった。

これに対し委員から、家畜共済診療においては、薬価差を得るための動物用医薬品の多用あるいは使用は行われていないとの意見が述べられた。

また、薬価算定方法の変更に伴い薬価は引き下げられるが、引き下げによる動物用医薬品市場に与える影響は大きいと市場が混乱しないよう、関係団体に対する丁寧な説明が必要であるとの意見が述べられた。

- 2 薬価算定の基礎資料について事務局から、「薬価は医薬品購入実態調査の結果を基に算定するが、当該調査は家畜共済診療を行う診療施設の約7%を対象に実施している」旨の説明があった。

これに対し委員から、動物用医薬品の購入価格の加重平均値を用いる算定方法では、より正確な実勢購入価格を把握する必要があると、今後、医薬品購入実態調査の対象施設数を増やす必要があるとの意見が述べられた。

- 3 過疎地・遠隔地等における医薬品購入価格について事務局から、「地域による医薬品の購入価格差については、中山間地域以外の地域と比べ、中山間地域の方が購入価格の高いものと低いものとがあり明確な傾向は見られない」旨の説明があった。

これに対し委員から、畜産農家や家畜飼養頭数の少ない過疎地、遠隔地等では、獣医師は薬価より高く動物用医薬品等を購入せざるを得ない状況も生ずると思われるため、今後、検討が必要であるとの意見が述べられた。

諮問事項

2 家畜共済診療点数表付表薬価基準表に収載する医薬品について

【調査審議結果】

家畜共済診療点数表付表薬価基準表に収載する医薬品（案）（別添及び（注１）並びに（注２））については、適当と判断する。

【調査審議における専門委員からの主な意見等】

家畜共済診療点数表付表薬価基準表に収載する医薬品について事務局から、「薬価基準表収載希望のあった動物用医薬品のうちイベルメクチン製剤（注射薬及び外用薬）及びエプリノメクチン製剤（外用薬）は疾病予防及び寄生虫（原虫及び糸状虫を除く。）駆除薬に、電解質経口補液剤（内用薬）及びプロゲステロン製剤（腔内挿入薬）は畜主自ら応用するのを常態とするものにそれぞれ該当することから、収載することは適当ではないと考える」旨の説明があった。

委員から、事務局の判断は妥当であるとの意見が述べられた。

食料・農業・農村政策審議会農業共済部会
家畜共済小委員会 委員名簿

(専門委員)

あら い せ つ お
荒 井 節 夫

北里第一三共ワクチン株式会社 取締役副社長

いそ ひ で お
磯 日出夫

磯動物病院 院長

お お の よ し み
大 野 芳 美

社団法人茨城県配合飼料価格安定基金協会 常務理事

さ と う し げ る
佐 藤 繁

岩手大学農学部獣医学課程 教授

と み お か み ち こ
富 岡 美千子

北里大学獣医学部獣医学科 助教

ひ ら た の ほ る
平 田 昇

千葉県農業共済組合連合会家畜診療課 課長

み き わ た る
三 木 渉

北海道農業共済組合連合会企画研修部研修課 技術総括

座長

(五十音順、敬称略)